



岐阜大の学部の再編問題について話す地域科学部の富樫学部長（右奥）＝岐阜市美江寺町の岐阜合同法律事務所

岐阜大地域科学部募集停止検討

歴代学部長「真摯な議論を」

岐阜大で経営学部の新設に伴い、地域科学部の募集停止が検討されている問題で、過去に地域科学部長を務めた四人が近く、森脇久隆学長に、連名の声明提出を検討していることが分かった。声明案では客観的な事実や歴史的経過を踏まえた、真摯な議論を求めている。

四人は、二〇〇〇年十月～二年三月の学部長経験者。声明案では、大学側の構想について、地域科学部の創出に尽力した教職員や学生、高校の教員らの「努力とその成果が十分に踏まえられていないのではな

い」と指摘。改革に必要なのは「トップダウンによる強行措置ではない」として「大学で学ぶ主体（学生や高校生）を軸に据えた改革議論が望まれる」とした。

富樫学部長が講演

岐阜

かしい。大学の経営陣は当事者の意見をしっかり聞いて歩んでほしい」と話した。

一方、八日は「岐阜・九条の会」が主催する例会が岐阜市内であり、地域科学部の富樫幸学部長が講演。経営学部の新設は文部科学省の審議会を経る必要などがあるとして「不可能」と指摘。「環境や生活など、幅広い分野で持続可能な社会をつくるために求められているのは経営学部ではなく、地域科学部だ」と話した。（高橋貴仁）